

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、 自分の意見をしっかりと語れる子ども

取組目標

歴史・人・自然・もの・未来につなげ守ろう SDGs！

ふるさとに夢と誇りを持とう・故郷の良さを発見！ふるさとの文化をつないでいこう！
地域ぐるみで特産品を作ろう！ようこそ先輩！地域の人に学ぶ職業観！

【今年度の取組紹介】

今年度は新型コロナウイルス感染症の規制も緩和され、4年ぶりに実施された活動もありました。特に、地域と合同で行われる体育祭では、熱中症対策に配慮しながら、準備から片づけまで地域の方々と児童生徒が協力し、心に残る体育祭となりました。また、今年度、烏梅を使った紅花染の体験については、梅の資料館で行い、集まった7年生と地域教育協議会の大人組、はぐらぶの方々、また、地域協力隊の方も参加し、実施することができました。後日、赤く染めた紐で合格祈願の梅結びお守りを制作し、受験前の9年生に贈りました。さらに、8年生の家庭科では、染めた布でのコサージュ作りに取り組み、卒業生が式当日胸に付けるコサージュを丹精込めて仕上げる等、地域と子どもが一緒にふるさとの伝統文化を体験し、新たな製品作りに発展させることができました。その他、28年目となった「アルミ缶回収活動」も、地域の方々の手厚いご協力のお陰で続けることができています。今年は、3台の福祉機器を寄贈し、これまでに寄贈した福祉機器は152台になりました。毎年恒例となっている、こ・小・中合同で行われている梅の実採りやその梅を使った梅干し作り、また、月ヶ瀬クリーン部隊の協力による環境美化活動等、いずれも、人々の温かさに触れ、ふるさと月ヶ瀬の良さを知る貴重な体験となりました。



☞ 烏梅を使った「紅花染」と9年生へのプレゼント作り



4年ぶりの開催となった「月ヶ瀬体育祭」☞



【今年度のまとめ】

今年度は、月ヶ瀬体育祭も復活し、徐々に地域の方々と交流する場も増えてきました。また、大学生参画事業も3年目となり、地域行事や月ヶ瀬の特色ある産業の体験活動にも積極的に参加し、児童生徒や地域の方と一緒に活動する機会を持つことができました。28年目となったアルミ缶回収活動では、多くの方々の協力のもと活動が行われ、今年も社会福祉協議会から感謝状をいただきました。「地域の子どもの地域で育てる」体制をさらに強化し、今後もより良い形を模索しながら、様々な取組を継続していきたいと考えています。

【来年度に向けて】

月ヶ瀬中学校区は少子高齢化の進むべき地ではありますが、長年、地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。特に、ずっと関わっていただいているベテランスタッフやボランティアの方々に、保護者世代の新たな力が加わり、郷土愛を育て地域を守るための話し合いを進めながら地域教育協議会の活動に新たなアイデアを吹き込んでくれています。今までの積み重ねを大切にしながら、取組を深化・発展させていきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、

取組目標

自分の意見をしっかりと語れる子ども**「ふるさとに夢と誇りを持とう」ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、未来につないでいく生徒の育成**

【今年度の取組紹介】

新型コロナウイルス感染症による規制も緩和され、恒例となっていた活動が少しずつ戻ってきました。地域に在住する高齢者とのふれあいの場として福祉センターで行われていた「いきいき講座」を実施しました。また、保護司をしておられる地域の方をゲストティーチャーに迎え、様々な経験を基に「薬物乱用防止教室」を実施していただきました。その他にも、「ふるさとWalk」では、昨年同様、地域の方をゲストティーチャーに迎え、プロジェクターに映し出された映像についてご説明いただきました。

また、長年にわたり継続している「花いっぱい運動」や「アルミ缶回収活動」は、地域の方々の多大な協力を得て、今年も例年通りの活動が実施できました。そして、今年度から立ち上げた図書整備事業では、図書ボランティアの方々と図書館司書の方々の協力のお陰で、図書室の整理や本の管理の電子化に向け、作業を進めていただきました。

今年度も、たくさんの活動の中で、地域の方々と生徒が直接交流できる機会が増え、自分たちが暮らす地域をより深く知ると共に、人・こと・ものとのつながりの大切さを学ぶことができました。



地域の保護司の方に聞く
「薬物乱用防止教室」

図書整備事業が本格的に
始まりました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍に工夫しながら続けてきた活動に加え、今年度は「月ヶ瀬体育祭」や「いきいき講座」など地域の方々と触れ合う機会も更に増え、改めてふるさと月ヶ瀬へ思いを繋げる活動ができました。本校の伝統でもある「アルミ缶回収活動」は、今年で28年目となり、地域ぐるみの活動として、福祉面や環境面など多方面からも高い評価をいただいております。生徒数も徐々に減少しており、地域の協力無しに継続することが難しい現状ではありますが、あらゆる活動をご理解、ご支援いただいている地域の皆様に感謝しながら、これからも各取組を深化させていきたいと思っております。

【来年度に向けて】

月ヶ瀬は産業も多く、人材にも恵まれた地域です。少子高齢化の進むべき地ではありますが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。特に、将来に向けたキャリア学習では、地域で広く活躍する方の職業観について学べるよう、その豊富な人材を生かした支援体制づくりにも努めてきました。今後も、さらに広く活躍する方々とつなぐ体制を構築し、キャリア教育をより豊かで充実した学習にしていきたいと考えています。また、各取組においても、継続できることのありがたさに感謝し、さらに発展した取組を追求していきたいと思っております。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、 自分の意見をしっかりと語れる子ども

取組目標 月ヶ瀬の良さを体感するために、特産品・この地域にしかない物作りの体験学習や地域に伝わる伝統芸能継承者の方から直接教えていただくことを通して、ふるさと月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

【今年度の取組紹介】

月ヶ瀬小学校で取り組んでいる地域学習は、地域の方々に支えられ、成り立っています。今年度は、新型コロナウイルスの感染症の規制も緩和され、4年ぶりにマスクなしで伝統芸能の舞台発表を行うことができました。この活動は、保護者の世代から受け継がれている活動で、親子二代に渡って継続されていることの重みや地域の方々の熱い思いを感じながら、大切に継承していかなければならないと感じています。指導者の方々には、何度もご指導いただき、発表会が成功裏に終わられたことに感謝します。

また、梅寿会との交流会やお話の会は、今までの経験を生かしながら、それぞれの発達段階に合わせた内容を検討し、学年毎に活動を実施していただきました。

月ヶ瀬小学校の児童は、自分たちの暮らす地域の文化や生活習慣、産業、伝統文化に至るまで、幅広く月ヶ瀬を学んでいます。5年生で毎年恒例となっている梅干しづくりや、3年生では、手もみ茶体験に加え闘茶会も実施していただきました。発達段階や教科・領域などの学習との関連も考慮しつつ、身近な月ヶ瀬を深く知ること、児童には故郷を思う気持ちが育っています。小学校での地域学習のこうした学びは、中学校での学びにつながり、さらに発展、発信へと深化していきます。これからも自分たちの地域を見つめ、深めていく取組を続けていきたいと思えます。



伝統芸能の伝承
「尾山万歳」

3年生で行われた
「闘茶会」



【今年度のまとめ】

小学校では基礎基本の定着を図る学習活動を通して、しっかりとした礎を作ることが大切だと考えています。加えて、月ヶ瀬小学校では児童の発達段階に応じた地域学習の取組にも力を入れています。

児童は地域学習を通して、月ヶ瀬を深く知るだけでなく、人とつながることの大切さを知ったり、地域の方々の温かさに触れたり、ご支援いただいた方々への感謝の気持ちを持ったりすることができました。ふるさと月ヶ瀬を誇りに思い、月ヶ瀬の伝統芸能や文化の伝承者として次の世代を担っていく人材の育成を目指し、これからも取組を続けていきたいと思えます。

【来年度に向けて】

今までお世話になっている地域の方々に加え、保護者世代の若いスタッフの方々の協力のお陰で、地域ぐるみで子どもたちを育てる良い環境を構築していただいております。今後は、様々なアイデアの中、広報活動等デジタル化もうまく取り入れ、活動に幅が持たせられればと考えております。

ただ、地域の少子高齢化が進み、伝統芸能や生活文化を継承する人材の確保が難しい現実もあり、どのように続けていくかを地域も学校も考えていく必要が出てきています。児童にそれらを伝承していくという自覚や意欲が育つように、これからも取組を深化させていかなければならないと考えます。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども。

取組目標

地域とのつながりを大切にして地域に親しみ、地域の伝統、産業に触れ興味関心を持つ。

【今年度の取組紹介】

5月夏野菜植えからスタートしました。園の畑にキュウリ、ピーマン、ナスの植え方を教えてもらいました。夏には、キュウリやピーマン、ナスがたくさんできました。夏野菜カレーを作ってコーディネーターの徳家さんを招待し美味しいカレーを食べました。陶芸体験、お茶摘み、茶工場見学にも行きました。

6月小中学校のお兄さん、お姉さんと5歳児が梅の実とりをしました。お話の会では、だっこの会や108の会の皆さんに紙芝居、絵本、人形劇を見せてもらい楽しいひと時を過ごしました。

9月お茶会で、浴衣や甚平を着た子ども達が、お茶とお菓子をいただき、香り、味、色など5感で楽しみました。

11月地域散歩で5歳児が初めて龍王の滝へ行きました。由来を教えていただき、山道を歩き着いたところは、神秘的で綺麗な水が流れていました。

12月しめ縄づくりを体験しました。しめ縄にきれいな飾りをつけて世界に一つだけのしめ縄が出来ました。



【今年度のまとめ】

計画していた地域事業は、すべて行うことが出来ました。4歳・5歳を中心に進める中で、5歳児は去年の経験を覚えていて、コーディネーターの方との再会に喜んだり、活動を覚えていて陶芸体験で「おさらつくったことある」などと話したり、少しずつですが地域の方と交流したり、お茶や梅などの特産物も知ることが出来ました。

【来年度に向けて】

例年通りの計画を進めながら、その都度見直しを行い、新規事業にも挑戦して地域と子ども達を繋ぐ取組を進めていきたいです。